



“積極進取！”

第 5 号



令和2年6月19日(金)

発行者 校長 上原 源三

～第2波ってあるの？～

前号でお知らせしましたが、6月8日(月)から1、2年生の早朝講座が毎日7:30分から始まっています。個人面談も10日(水)で終わり、生徒のみなさんにとってはハードな50分授業の開始になりました。部活動も日に日に激しさを増し、残念ながらケガをする生徒が見受けられます。梅雨も明け体育系、文化系に關係なく特に熱中症対策が重要になってきました。

11日(木)には昼休みに本校2年生のダンス部による中庭でのグリパパフォーマンスが行われ、多くの生徒の声援を受け大いに盛り上がりました。また、12日(金)には吹奏楽部の演奏があり“嵐メドレー”で生徒たちの心を弾ませておりました。昼休みという限られた時間でパフォーマンスを披露し、少しでも全校生徒を盛り上げたい、心を和ませたいという生徒たちの想いが心に届き感動で胸が熱くなりました。

そのような最中、県教育委員会から金城弘昌教育長が本校視察にいらっしゃいました。“学校で困っていることはないか”“今必要なものは何か”など学校を支えるための手立てを模索していました。



約3ヶ月の非日常から日常へと移行が始まったように感じます。とは言え、手放して喜んでばかりもいられません。県教育委員会からは第2波に備え、遠隔授業に向けた指導計画書の作成を行うよう依頼がありました。これから夏本番を向かえ観光客の増加が見込まれています。専門家はウイルスは潜んでおり、第2波は秋、冬頃にやってくるという見解を述べています。

大学入学共通テストが予定通りの日程で行われるという報道がありますが、これ以上の混乱を避けるためにも私たちは新しい生活様式を実行し次に備えていくことが重要です。 校長

～慰霊の日に向けて！～

本校では毎年6月23日の慰霊の日に正副HR長が「二中健児の塔慰霊祭」に参加しています。しかし、今年は新型コロナウイルスの感染防止の観点から慰霊祭の規模縮小のため生徒代表は生徒会長のみの参加となります。

島全体が焦土と化した沖縄戦では那覇高校の前身県立第二中学校においても187名の学徒と9名の引率教員が尊い命を奪われております。

そこで、本校と沖縄戦との関わりについて17日(水)に統一LHRを行いました。その内容は本校校歌について理解を深め、特に1番の歌詞を通し、平和を尊び祈念する時間を全校生徒で共有しました。

1) 世紀の嵐吹きすさみ

故山の草木形変え

千歳の伝統うつろいて

古(ふり)ぬる後も今はなし

校歌は初代校長 真榮田義見先生の作詞です。どのような想いでこの歌詞を作ったのだろうと考えると涙が止まりません。

私たちは深く学び後世に正しく伝えていかねばなりません。校長

校長雑感

高校時代は“地上最強”をめざし空手に打ち込んだ。3年生の時に県高校総体の“防具付組手”を制し、全国では準々決勝で涙をのんだ。「まだまだ甘い」と自分を嗜めつつ、ある程度の達成感を得られたことを覚えている。今年度は全国大会が中止になり、現3年生の気持ちを考えると心が痛くなる。しかし、気持ちを切り替え、前を向くことも人生の大切な要素である。

～～～ 時の言葉 ～～～

生き残る種とは、
最も強いものではない。最も知的なものでもない。
それは、変化に最もよく適応したものである。(ダーウィン)



新型コロナウイルスの感染拡大により、世界中が混乱に陥っています。世界中に広がるスピードも想像以上で、これもグローバル時代がもたらしたもののひとつといえます。ワクチンも特効薬もない現状で、私たちがこの未知のウイルスにどのように対峙していくか、まさに真価が問われていると思います。ダーウィンは現状をどのように捉えているのでしょうか？ 校長

～自習室を活用！～

那覇高校には自習室が2カ所あり、1、2年生は校内の研修室、3年生は城岳同窓会館の3階に設置されています。いずれも利用希望者を募り、本年度は1、2年生が48名、3年生が16名の応募がありました。

その管理をサポートティーチャーが担っています。校内の自習室は本校出身の大学生、城岳同窓会館は退職なされた先生方が担当していただいています。平日は放課後から午後9時まで利用でき、エアコンも効いています。

1、2年生は部活動を終えた後の利用が多く、3年生は土日の利用も可能です。それぞれの目標達成を祈っています。 校長